週刊 愛知民報
2021年 8月22日 第2550号

発行所 愛知民報社
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 FAX(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料168円 1部 100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

愛労連で初の女性議長就任

困ったときに手を差し伸べる組合に

インタビュー

第7代愛労連議長

西尾美沙子さん

愛労連（愛知県労働組合総連合）は7月18日に開いた第64回定期大会で、西尾美沙子さん（51・愛知県医療介護福祉労働組合連合会＝愛知県医労連副委員長）を新しく議長に選出しました。西尾さんに抱負を聞きました。（本紙・村瀬和弘）

女性の声を

――愛労連史上初めての女性議長です。5歳の子どもを抱えながらの活動です。

西尾 男性も女性も仕事と生活を両立させ、人間らしく働きつづけられるようにすることが必要です。私が議長を引き受けることで、女性の声を労働組合運動に通していく力になればと思っています。

――精神病院に勤めた経験があるそうですね。

西尾 岐阜県内の私立大学で心理学などを学びました。統合失調症の患者さんと接する機会があり、精神障がいについての理解が乏しいということも分かりました。それで、1993年3月愛知県瀬戸市内の精神科病院・愛治病院に就職しました。職員は全員で同年10月4日に「愛治病院労働組合」を結成しました。私は「就労環境をよくする。精神科医療をよくする」の一念で組合に加入しました。

その後組合は、院長側からの切り崩しにあいました。最後まで組合に残留した5人が解雇されました。94年1月、愛知地方労働委員会に不当労働行為の救済を申し立て、名古屋地裁への仮処分申請を行いました。96年5月に一度は職場復帰を勝ち取りましたが、院長が亡くなり、個人病院の労働債権の継承ができなかったということもあり、2回目の解雇になりました。生活をしなければならないということもあり、98年に和解・金銭解決に応じました。争議では日本医労連の全面支援をいただきました。また、日本共産党の瀬古由起子衆院議員、田中久幸県議（いずれも当時）が国会、県議会で取り上げてくれました。

同年から名古屋市内の北メンタルクリニックに就職し、精神保健福祉士の資格を取りました。2005年からは愛知県医労連の専従役員として現在に至っています。

争議で分かったのは、「困ったときに手を差し伸べるのが組合」だということでした。

争議を経験

――労働争議の当事者としてたたかわれました。

西尾 患者の手紙を検閲したり、物品を高く売りつけたり、無資格者のみが夜勤するというとんでもないことが横行していました。事務をやっていた院長の夫が亡くなり、その後院長が賃下げをしてきました。

コロナ対策を

――新型コロナ対策の充実、医療現場を守るたたかいの先頭に立たれています。

西尾 入院ベッドが足りません。コロナで発熱した患者さんが自宅療養中に急に悪化して亡くなる例が報告されています。入院ベッド、宿泊療養施設の充実は急務です。

医療現場はどこも人手が足りません。コロナ対応に追われて、患者さんの声に耳を傾けることができなくなっています。外部からの面会を受け入れることもできません。患者さんが弱っていく様子が手に取るように分かります。孤独な状態で亡くなっていくことも分かっています。

介護施設は三密職場で、すぐにクラスターが発生します。徘徊する認知症患者を隔離保護するのは困難です。特別養護老人ホームはそもそも人が足りなく、一人夜勤ということもあります。

愛知県医労連が取り組んでいるスタンディング宣伝やツイッターデモへの反応がなぜいいのか。それは患者、医師・看護師・介護職員が命を削るようなことがあってはならないということをみんな分かっているからです。

最賃上げよ

――10月1日からの愛知の最低賃金の引き上げ額「28円」という答申が出ました。

西尾 医療・介護の賃金は最賃に張り付いています。検査技師や院内保育士の求人が時給1000円以下の職場があります。国民の購買力を上げなければ景気は良くなりません。愛労連が記者会見で経済試算を発表しましたが、最賃引き上げが効果があることは分かっています。28円の引き上げは重要な成果ですが「時給955円」ではまだ安い。「1500円」を正面に掲げて運動を続けます。

憲法と平和

――憲法と平和を守る運動で重要な役割を果たしていますね。

西尾 「再び白衣を戦場の血で汚さない」という先代の教えです。平和でなければ命は守れません。

現場の声聴く

――要求実現を進めるには組織拡大がかかせません。

日本の労働組合の組織率は連合系も全労連系も中立系も合わせ全体で2割を切っています。圧倒的多数の労働者が未組織です。ましてや、女性の組織率は圧倒的に低い。医療介護でも組合のない職場が圧倒的です。

愛労連には業種を超え「一人でも入れる組合」があります。医労連加盟組織では「地域ケアユニオン」です。積極的に現場に足を運び、声を聴き、仲間を広げたいと思います。

愛知県と名古屋市に「新型コロナウイルス患者の入院制限の政府方針を導入せず、新型コロナ感染拡大を抑止する早期発見・早期隔離・早期治療の体制強化」を求める緊急要請書を提出する愛知県医労連の役員。左端が西尾さん＝11日、名古屋市役所（写真提供＝愛知県医労連）